



大井町議会だより

2018. 8. 1 No.196

ひ た よ ろ う

議会報告会・意見交換会 2

3会場で4回開催 54人の来場

第2回定例会・第2回臨時会 4

6月6日から8日の3日間

一般質問 ここが聞きたい(8人) 7

議会を傍聴して 11

町のこの人あのひと 12

創立10周年に向け始動

防災に強い町づくりをめざして

ひらの 平野 のりひさ 雅久さん



力をあわせてガンバルぞ!!

E-mail gikai@town.oi.kanagawa.jp / URL <http://www.town.oi.kanagawa.jp/gikai/>

この広報は、再生紙を使用しています。

議会報告会・意見交換会を4回開催 各会場で防犯カメラが話題！

この議会報告会・意見交換会は大井町議会基本条例に基づき「開かれた議会・町民の皆様と共に歩む議会」を目指して3会場で4回開催し、延べ54人の参加がありました。今回の報告会は予算審査状況など議会としてどのような取り組みをしたか、また各委員会の委員長から今後の活動目標などの説明を行い、皆様からの質疑を受けました。

会場ごとの主な質疑内容は次のとおりです。

生涯学習センター

午前の部

5月17日（木） 実施

問 傍聴規則改正の内容は。

答 傍聴者の入場禁止条項と守るべき事項を、傍聴者の責務として整理した。また、スマホ・カメラ等の持込み禁止を議長の許可制とし、傍聴環境の整理を推進することを規定した。

意見 開かれた議会を目

指すのであれば、定例会の土日開催をするべきだ。
意見 議会傍聴者にも質問ができる機会を設けるべきだ。

問 報告会の資料だけでは説明にある重要なポイントが見えない。

答 極力ポイントは入れたつもりだ。すべてを資料化することはできないが、今後改善していく。

問 区画整理地の面積は無電柱化はできないのか。

答 13・4 haである。議会としても地中化を提言したが実現しなかった。

問 区画整理地内公園は、緊急ヘリは発着するのか。

答 現在は不明である。担当課に聞き取りしていく。

【町からの回答】

防災計画上、近隣では湘光中学校グラウンドがヘリコプター臨時離着陸場となっているので、現在のところ考えていない。

問 御殿場線と交差する

都市計画道路のガードは広くなる予定があるのか。
答 都市計画道路と御殿場線はアンダーパスになる。それまでは現状のままの広さである。

問 町づくりアンケートで、重要度が高く満足度の低いもの、交通網の整理、公園の整備、歩道の整備等があるが、議会が町に対してもっと言うていくべきでは。

答 議会でも一般質問等で対応しているが、今後も続けていく。

問 大井町は女性議員が少ない。他町では女性議員を増やす活動があるがどう考えるか。

答 女性が立候補しやすい環境整備が必要。女性としての感性が必要なことも多くある。

問 公園の調整池はどのようなになるのか。

答 当初は開放式であったが、工事を進める中で地下水の関係で地下式になった。



生涯学習センターで開催

生涯学習センター

夜間の部

5月17日（木） 実施

問 コミュニティクラブの受入れが6年生までにあったが、障がい児を受入れているところもあり、

議会でも取上げてほしい。
答 所管事務の委員会では調査研究していきたい。今後の委員会活動や個人の活動にも生かしていく。

問 町道9号線は10年後の完成と伺った。将来紫水大橋につながるが、今後の計画はどのようなになっているのか。

答 都市計画道路として県が施工していく。町の事業ではないので議会とは関係ない。

しては県の動向を注視していきたい。

問 防犯カメラは有益だが、現在何台設置してあるのか。設置場所もわかるようにしてほしい。

答 現在は1箇所もない。今年度の4箇所の設置は一般質問によって実現したと考える。設置場所の公表は難しい。

問 議場外傍聴席の活用状況は。

答 以前、乳幼児が騒いで退場させたのを契機に新設した。

問 本会議や委員会が見えない。議案審議や議決が見えるように、本会議と委員会の議事録をホームページで公表してほしい。

答 今後検討していく。

問 中央公園は子育てをする方に魅力的なものにしてほしい。現在の進捗状況は。

答 町民の意見を取入れたものの、難しいもの、検

討を要するものと町では整理している。これから実施設計が行われる中で検討されていく。

問 請願、陳情は町民に身近なものであるが、陳情の多くは卓上配布と聞いている。提出されたものはしっかり議論されるべきだ。また陳情を取上げなかった理由を議会、だよりに載せてほしい。

問 生ごみ収集がゴールデンウィーク期間はない収集するように検討して欲しい。

答 生活環境課で確認する。

【町からの回答】

問 議会運営委員会で陳情を上程するか検討している。議会、だよりに掲載することについては、検討していく。

年末年始休暇を含めて長期休暇のごみ収集は、6日を越さないようにしている。今後は3町との調整や収集業者との話し合いを続け、よく検討していきたい。

宮地自治会館

5月18日（金） 実施

問 他の議会では、議会報告会の後に少人数で複数テーブルを設け、交流会を実施しているところがあるが。

答 広報常任委員会でもいろいろと意見が出ており検討していく。

問 昨年まで社協で紙おむつを配布していたが廃止された。予算の関係だと思いが続いている。

答 社協ではいろいろ検討したうえで廃止したと聞いている。

らないか。

答 グランドの芝生化については一般質問をしている。町は維持管理の課題があり実現は難しい旨の答弁があった。引き続き活動していく。

問 防犯カメラは今まで1台もなかったのか。設置場所は。

答 ゆめの里で草根の盗難があり設置した経緯はあるが、街中ではない。昨年松田署で3か月間、5個所に設置した。今年度町は予算化したが、設置場所は決まっていない。

問 西大井のNEC付近でも危ないと聞いているが。

答 防犯灯もついているが、暗い場所もあると聞く。企業で月1回パト

問 湘光中学グラウンドの砂ぼこりがすごい。現場を確認して対応を検討してほしい。

答 スプリングラーを設置しているが、十分な対応とは限らないので検討して町に提言していく。

問 大井高校では3年前に芝生化した。参考に

ないか。

答 グランドの芝生化については一般質問をしている。町は維持管理の課題があり実現は難しい旨の答弁があった。引き続き活動していく。

問 防犯カメラは今まで1台もなかったのか。設置場所は。

答 ゆめの里で草根の盗難があり設置した経緯はあるが、街中ではない。昨年松田署で3か月間、5個所に設置した。今年度町は予算化したが、設置場所は決まっていない。

問 西大井のNEC付近でも危ないと聞いているが。

答 防犯灯もついているが、暗い場所もあると聞く。企業で月1回パト



宮地自治会館で初めて開催

ロールしており、地域でも協力している。

問 教育福祉常任委員会では未病の調査をするとのことだが、今は多くの情報が入手できる。行政視察は無駄では。町の健康寿命の現状は。

答 町では運動として体育館のトレーニングルームやラジオ体操の推進、食として食生活改善事業などを行っている。また、県でも2市8町を中心に未病の事業を展開している。委員会では今後も調査研究を続けていく。健康寿命は今手持ち資料がないので不明。

【町からの回答】

健康寿命については、厚生労働省の研究委託により、都道府県別の推計値は公表されているが、市町村別には推計がされておらず不明である。

問 町のシンボルであるひょうたんを議会としてどう考えているか。

答 議会も町のシンボル

と考えている。町ももっと取り組むべきだが、町民と町が一緒になって考えていく必要がある。

問 議会報告会への出席者が少ないが対策は。

答 新しい自治会館での開催、議員によるチラシの配布、広報での告知、開催時間の変更等いろいろと考えているが、試行錯誤を続けている。

そうわ会館

5月19日（土） 実施

問 今年度予算全体で2億円程減だがその要因は。

答 町税・町債の減額、国民健康保険の制度改革に伴う国保会計の減額等が主である。

問 山田総合グラウンド以外に指定管理者はあるのか。

答 ない。

とされている。町ももっと取り組むべきだが、町民と町が一緒になって考えていく必要がある。

問 議会報告会への出席者が少ないが対策は。

答 新しい自治会館での開催、議員によるチラシの配布、広報での告知、開催時間の変更等いろいろと考えているが、試行錯誤を続けている。

そうわ会館

5月19日（土） 実施

問 今年度予算全体で2億円程減だがその要因は。

答 町税・町債の減額、国民健康保険の制度改革に伴う国保会計の減額等が主である。

問 山田総合グラウンド以外に指定管理者はあるのか。

答 ない。

問 指定管理者制度の条例はあるのか。今回のプレゼンは何社あったのか。

答 条例は5、6年前に

議会でも承認した。プレゼンは4社あった。

問 防犯カメラの設置や第8分団詰所の建替えはいいことだ。防犯カメラは不法投棄監視にも使用するのか。篠窪分団の今後はどうなるのか。

答 4台の防犯カメラの予算であるが、植物盗掘防止の監視カメラを設置したこともある。詰所の建替えは古い順に取り組んでいるようだ。

意見 篠窪の分団では人員が不足している。詰所を建替えるときは、地域とよく協議して欲しい。

意見 期日前投票をする人が増えているが、期日前投票所は町内1個所だけである。そうわ会館でもできるようにしたいという意見が、地元の家合であった。

議会でも承認した。プレゼンは4社あった。

問 防犯カメラの設置や第8分団詰所の建替えはいいことだ。防犯カメラは不法投棄監視にも使用するのか。篠窪分団の今後はどうなるのか。

答 4台の防犯カメラの予算であるが、植物盗掘防止の監視カメラを設置したこともある。詰所の建替えは古い順に取り組んでいるようだ。

意見 篠窪の分団では人員が不足している。詰所を建替えるときは、地域とよく協議して欲しい。

意見 期日前投票をする人が増えているが、期日前投票所は町内1個所だけである。そうわ会館でもできるようにしたいという意見が、地元の家合であった。

問 待機児童は何人か。

答 年度当初で2人。働く母親が増えており、今後どのような保育環境が必要か更に調査していく。

問 年度当初で2人。働く母親が増えており、今後どのような保育環境が必要か更に調査していく。

答 年度当初で2人。働く母親が増えており、今後どのような保育環境が必要か更に調査していく。

問 年度当初で2人。働く母親が増えており、今後どのような保育環境が必要か更に調査していく。

答 年度当初で2人。働く母親が増えており、今後どのような保育環境が必要か更に調査していく。

問 年度当初で2人。働く母親が増えており、今後どのような保育環境が必要か更に調査していく。

答 年度当初で2人。働く母親が増えており、今後どのような保育環境が必要か更に調査していく。

問 年度当初で2人。働く母親が増えており、今後どのような保育環境が必要か更に調査していく。

答 年度当初で2人。働く母親が増えており、今後どのような保育環境が必要か更に調査していく。

第2回 定例会

都市公園条例の一部を改正する条例

(賛成全員)

特別会計

介護保険特別会計

(第1号)(賛成全員)

大井町保健福祉センター空調設備改修工事及びLED設置工事

(賛成全員)

請願

年金隔月支給を毎月支給に改めることを求める請願書

(賛成6反対7)

問 病児・病後事業にニーズはあったのか。
答 多くのニーズはないが少なからず必要な人はいる。そのため広域で事業を展開することになる。

平成30年第2回定例会は6月6日から8日までの3日間を会期として開催され、条例や補正予算等を審議しました。
また、行財政全般に及ぶ一般質問を8人が行い、町の考えを質しました。

条例

国民健康保険税条例の一部を改正する条例

(賛成全員)

補正予算

一般会計

(第2号)(賛成全員)

問 議会報告会で出た要望は町側に伝えて欲しい。
答 要望により直接担当課に出向いたり、一般質問で取り上げている。

問 ネット中継を検討しているとのことだが、いくらの経費がかかるのか。
答 高いところでは数万円の見積りである。会議録システムの話もあり検討している。

意 ネット中継の数千万円は高い。議事録の充実に努めたほうがいいと思う。

*国民健康保険法施行令の一部を改正する政令の施行に伴い課税限度額の変更を行うもの。

問 軽減対象者は何名で金額はどの位か。
答 29年度課税ベースの比較で13世帯29人、金額は42万1000円。

問 30年度より県に移行するが各自治体で差があるのか。
答 法施行令が変わるので全国統一である。

*都市公園法施行令の一部が改正され運動施設の敷地面積に対する割合を条例で定めることとなり、改正を行うもの。

水道事業会計補正予算

(第1号)(賛成全員)

*若手技術系職員の育成のため、水道技術管理者資格取得講習会受講料30万8000円を予備費で調整。

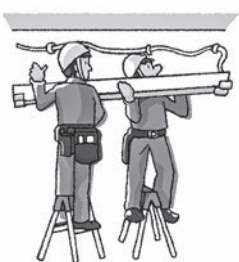
工事請負契約の締結

上大井小学校南棟改修工事

(賛成全員)

問 借地料が予算化されているが、買収分も含まれているのか。
答 含まれている。月割りで次回補正する。

*予定価格を9975万9600円とし10社を指名するも2社が辞退のため8業者による入札の結果、松浦建設株が9155万1600円で落札したため、契約締結の承認を求めるもの。



問 落札率は82%だが内容を調査したか。
答 低入札の調査をした。工事の内容、時期、対象材料の仕入れや、経費等についても確認した。

*予定価格を9846万3600円とし12社を指名するも2社が辞退、2社が不着のため8業者による入札の結果、株根布工業が8078万4000円で落札。
なお、予定価格の90%を下回る「低入札」であったが、調査の結果、施工の確実性が認められたため、契約締結の承認を求めるもの。

〈教育福祉常任委員会〉

本会議において委員会報告、討論後、採決の結果、賛成少数で「不採択」と決した。

この請願は、請願者全学年金者組合大井町年金者の会 島内正年氏ほか319名の連名にて提出されたもので、教育福祉常任委員会に付託された。委員審査に当たっては、請願者として全学年金者組合大井町年金者の会・島内正年氏、田淵隣雄氏から説明機会の提供の要望があったため、これを許可し、質疑応答を行った。
また、紹介議員である鈴木武夫議員、熊田和人議員から補足説明を受け、質疑応答を行った。

第2回定例会・第2回臨時会



請願審査の様子

〈審査質疑〉

問 実際に困っていることの事例は。

答 年金支給日に金融機関が混雑する。

問 隔月支給でも毎月支給でも年金の額に変わりはなく、やりくりで賄っていきけるのではないか。

答 一度入ってしまうと使い過ぎてしまい、2か月目が苦しくなることがある。

問 隔月支給の方が便利では。

答 毎月支給の方がやりくりがしやすい。

問 振込手数料など多額

の費用が掛かることについてどう考えるか。

答 年金受給者の立場に立って理解願いたい。

問 署名された方には若い方もいたと思うが意見は。

答 給料は、月1回なので年金も毎月支給が良い。

問 年金から市町村でも特別徴収しているものがあり、国とは別に自治体レベルでもコスト増になるのでは。

答 厚生労働省の見解でも承知されている。賃金は毎月支給であり、年金もそれにならうべきとの趣旨に理解を示している。

〈審査結果〉

慎重審査の結果、賛成少数により「不採択すべきもの」と決した。



第2回臨時会

5月18日に開催され、専決処分承認等4議案を審議しました。

専決処分の承認

大井町税条例の一部を改正する条例について

(賛成全員)

* 地方税法等の一部を改正する法律の公布に伴い、同法条項等を引用する本町条例の一部を改正するもの。

条例

大井町税条例の一部を改正する条例について

(賛成全員)

* 生産性向上特別措置法に基づき、国の認定を受けた中小企業の一定の設備投資について、償却資産に係る固定資産税の特例措置を規定するもの。

問 中小企業の支援のための補助金申請見込は。

答 対象となる補助金制度は4つあり、すべてを把握することはできないが、商工会を通して申請されているものは7件、2430万円である。

補正予算

一般会計

(第1号)(賛成全員)

* 国の経済対策を受け、平成29年度補正予算において上大井小学校改修工事費等を計上したことから、平成30年度当初予算における同事業費の減額を行うとともに、幼稚園バスの購入に係る経費などを増額するもの。

問 いこいの村の源泉施設の補修で、入湯税を財源として補助しているが、他の補修費の補助について、その範囲を整理しているのか。

答 入湯税については、目的税で、その使用範囲は法律で定められているが、その範囲の中で柔軟な対応を検討する必要がある。

ある。

問 今後、リニューアル等で相当の費用がかかり、出資者である町も負担をする可能性があると考えられる。そのような申出があった場合、議会にも説明いただきたい。

答 今後のいこいの村の経営については課題がある。将来、町が中心的に担っていくのか判断していかねばならないし、そのような状況にあることを議員の皆様もご理解願いたい。

問 幼稚園バスについては、今までリースだったのが、今回、購入に至った理由は。

答 リースと購入と検討していたが、県内では現在リースをしているところはなく購入とした。

物品購入契約の締結

職員用・校務用パソコン及びモノクロプリンタ購入

(賛成全員)

* 神奈川県町村情報システム共同事業組合が入札執行した「パソコン及び周辺機器一式共同調達」及び「プリンタ等一式調達」における落札事業者に対して見積を徴収した結果、㈱TKCが245万8千167円で落札したため、契約締結の承認を求めるもの。

問 パソコンの購入は、一式買うことなく、分離型を購入し、使えるものはそのまま使うという考えは。

答 購入時点において、最も有効的な機種を選定している。環境的な部分もあるので、今後考慮しながら選定したい。

問 今まで、町が入札等で購入していたと思うが、今回、組合を通じて共同調達した理由は。

答 組合が出来てからは、共同調達で購入している。今回、契約金額が大きいので、議会で報告された。

審議した議案と審議結果

○は賛成 ×は反対
小田真一議長は、採決に加わりません。

臨時会の別 定例会・ 臨時会	議案 番号	議員名（議席順）と 審議結果 議 案 名	田村	牧野	熊田	清水	諸星	伊藤	曾根	細田	瀬戸	北村	清水	石井	鈴木	審議 結果
			俊二	一仁	和人	亜樹	光浩	奈穂子	徹	勝治	和雄	正夫	豊司	勲	武夫	
第2回臨時会	34	専決処分の承認について (大井町税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	35	大井町税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	36	平成30年度一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	37	物品購入契約の締結について(平成30年度職員用・校務用パソコン及びモノクロプリンタ購入)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第2回定例会	38	大井町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	39	大井町都市公園条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	40	平成30年度一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	41	平成30年度介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	42	平成30年度水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	43	工事請負契約の締結について (上大井小学校南棟改修工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	44	工事請負契約の締結について(大井町保健福祉センター空調設備改修工事及びLED設置工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	請願 1	年金隔月支給を毎月支給に改めることを求める請願書	×	○	○	○	○	×	○	×	×	×	×	×	○	不採択



児童の下校時に防災無線を活用し 下校の放送をする考えは

【答】 関係機関と調整し対応したい

清水 亜樹 議員



問 町民全体で見守って
いくことが重要と考える。
防災行政無線を活用し、
下校のお知らせを提案す
る。

防災安全室長 システム
上は問題ない。学校等と
調整が取れたら対応した
いと考えている。



児童の見守り活動を行う地域の方

【障がい者の雇用就労】

問 町職員の障がい者雇
用率の状況は。

町長 昨年6月時点で、
法定雇用率2・3％に対
して2・21％である。

問 障がい者就労施設に
おける優先調達の推進や
支援の状況は。

町長 調達実績として就
労継続支援B型事業所か
ら雑貨等を納入している。

問 優先調達の実績の概
要を公表していないよう
だが、公表する考えは。

介護福祉課長 現在、公
表していない。指摘を受
けた中で公表を進めてい
く。

問 優先調達として、除
草や封入れなどの作業を

依頼する考えは。

介護福祉課長 可能な就
労施設を調べる。また優
先調達についての理解を
求め庁内に広げたいと考
えている。

【障がい者のスポーツ】

問 障がい者のスポーツ
の推進と今後の取組みは。

町長 理解を広げていく
とともに障がい者スポー
ツを含むボッチャなども
検討していく。

問 総合体育館で車椅子
バスケットの利用を傷が
付く等の理由で断ったよ
うだが、再検討は。

生涯学習課長 検証を行
い、検討する。

本年任期満了を迎える決意は

【答】 要望に応え、課題に対して

誠実に取り組む

石井 勲 議員



問 少子高齢化が急速に
進行している今日、現在
継続されている事業以外
で、今後新たに取組むべ
き事業は何か。

町長 取組むべき事業は、
1 新たな顔となる中心
市街地の形成
2 地域新電力の設立と
スマートタウン構想の
推進
3 公共施設の機能的集
約化と統廃合の検討
4 幼保一元化の推進
5 道路網の整備と地域
交通対策の整備
6 パークゴルフ場整備
7 ごみ処理広域化の推
進。衛生関連施設の延
命化と2市8町での協
議の場の設置

問 あしがら地域創生連
携推進会議の現況と今後
の展開は。

町長 あしがら地域は人
口減・少子高齢化が進ん
でおり、税収減や社会保
障関連費の増加等、自治
体経営環境は厳しさを増
している。広域的な課題・
活性化のために連携し実
効性を高めるための指針
として、「あしがら地域広
域ビジョン」を策定した。

この指針を基に具体的
の取組みについて検討して
いく。

問 町は地域ブランドで
収入を確保していくのか、
交流人口、賑わいを確保
するためのブランド化が、
明確にすべきでは。

地域振興課長 所得につ
ながる事業展開をすべき
と考えている。

問 本年12月、町長は任
期満了を迎える決意は。

町長 課題を放り出して
やめることは出来ない立
場。掲げた事業・長期課
題に皆様の協力を得た中
で、まい進することが課
せられた責務ではないか
と考えている。



あしがら地域、連携と活性化が必要

電力の地産・地消の実現を目指しているのか

答 平成31年6月より実施したい

牧野 一仁 議員



問 地球温暖化の原因となる二酸化炭素の削減、原子力発電の代替となる再生可能エネルギーの活用や省エネを促進しなければならぬと考える。町の環境を重視した施策の推進について伺う。まず、事業のスキームはどのようなものか。

町長 法改正により再生



町内で電力が使用可能となるメガソーラー

可能エネルギーを東京電力P.G.が全量買取り、小売業者に販売することが可能となったため、地域の小売業者より町が買うことになる。

問 新電力会社を町内に設立することだが、どのようなものか。

町長 地域新電力会社の設立と電力の地産・地消については切り離して事業を進めたい。町内のメガソーラーからの供給が可能となることから、まずは、それに向けて準備・調整を進めていく。

問 電力の地産・地消のメリットは何か。

町長 大井町地球温暖化対策実行計画の重点施策である、二酸化炭素の排出量の削減で町内外に誇れる低炭素でクリーンな町づくりができる。町内2か所のメガソーラーの発電量は町公共施設の年間使用量の4倍ある。

問 近隣市町の動向は。

町長 松田町と開成町においては、県との間で「電力の地産地消推進事業の取り組みに関する協定」を締結した湘南電力株式会社をはじめ、株式会社エナリス、ほうとくエネルギー株式会社とエネルギーに関する協定を締結した。松田町では電力地産・地消、地域防災対策として事業を推進している。開成町では新庁舎建設に係るエネルギーマネージメントを含め、電力の地産・地消に向けた取り組みが計画されている。

子育て環境（保育等）の充実について

答 潜在的なニーズに対し、より良い子育て支援となるよう努めていきたい



田村 俊二 議員

問 次年度に向けて、大井保育園・土曜日保育の時間を再考する考えは。

町長 現在4月、5月、1月を除いた第1土曜日と学校行事が土曜日に当たる場合に実施している。実施回数拡大のニーズが高まれば拡大の方向で検討したい。

問 コミュニティクラブの障がい児の受け入れ態勢は。

町長 障がいの程度や施設の安全性、保護者の意向などを総合的に判断し、受け入れ可能な範囲で対応していきたい。

問 次年度に向けて、大井幼稚園・大井第二幼稚園で預かり保育を拡充する考えは。

町長 預かり保育は、平成27年度から16時までとして実施した。平成28年度からは、17時まで時間延長し実施している。今のところ、保護者からの時間延長等のニーズは高くないと考えている。幼保の連携と幼稚園・保育園の在り方の具体的な検討の中で総合的に判断し対応したい。

問 コミュニティクラブの土曜保育を実施する考えは。



放課後児童が過ごす「かみおおい児童コミュニティクラブ」

問 今年4月に神戸市中央消防団全10分団で、一旦個人口座に振り込まれた団員報酬を全額集め、懇親会費等に充てていたことが発覚した。国は「懇親の経費に公費を充てることは認められない。全額上納が強制であれば公費をプールしていることになる」と警告している。



町消防団及び特別職非常勤職員の報酬について

答 分団を通じて各分団員へ支給している

熊田 和人 議員

町長 町消防団の報酬についてはどのような流れか。
町長 消防団条例に基づき支給している。支給方法は前期・後期に分け、9月末と3月末の年2回の支払いとし、団員個人名義で支給している。振込先は、本部については個人口座に、分団員については分団の口座に一旦振込み、分団を通じて各分団員へ支給している。
問 分団から各分団員に支給していると言うことだが、何人かの消防団員に話を聞くと限り、源泉徴収票は町からくるが実際に現金が手元に来ないと聞いたが町の見解は。
町長 最終的に分団員に行き渡っていないことも



スピードを出してしまう町道21号線

ある。慣例により分団の管理・運営に任せており、各団員も理解して頂いている。
【町道の交通安全対策について】
問 町道21号線（根岸上く上大井）は、速度規制が無いためスピードを出す車が多く、近隣住民は危険を感じているが町の認識は。
町長 今年度から舗装工事を予定している中で、県道から町道21号線に入ってくる辺りに「速度落とせ」の道路標示とか、視角的に狭く見せるようなドットラインの設置を検討していきたい。

【教育保育環境の充実】
問 公立幼稚園のクラス定員を再考する考えは。
町長 町立3幼稚園や近隣の幼稚園の現状、保護者の考えも参考にしつつ総合的に検討したい。
問 大井保育園において0歳児保育の導入及び定員を増やす考えは。
町長 喫緊の課題として認識しており今後も提供体制の充実に努めていく。また、給食室等、園舎の建替えということもあわせて議論し早期に解決しなければならぬ。
問 大井幼稚園、第二幼稚園の年少児に給食を提供する考えは。



伊藤 奈穂子 議員

町立幼稚園に通う年少児に給食の提供を
答 町民サービスとして必要である



子育て支援の充実を！
大井保育園の様子

町長 町民サービスとして必要であると考えますが、幼稚園と保育園のあり方全体の中で検討する。
【地域共生社会の実現に向けた地域福祉の推進】
問 包括的な支援体制の整備が必要と考えるが見解は。
町長 町民一人ひとりが主体的に地域作りに取り組む意識の醸成を図るとともに総合的な相談支援を行う体制整備を着実に実施していく。
問 生活困窮者自立支援の取り組みは。
町長 関係機関や地域と連携し適切な支援に努めている。
問 フードバンク事業について見解は。
町長 廃棄される食品の削減に効果的であるとともに、経済的な支援を必要とする人にとって有意義なものであると認識している。現在、県社協は町社会福祉協議会を食糧支援の一次窓口として活用する方向で調整を進めている。

パークゴルフ場導入効果検証の進捗状況は

答 候補地選定資料は30年度中に検討する

細田 勝治 議員



【パークゴルフ場】

問 導入効果検証の具体的な考えは。

町長 36ホールのチャンピオンシップコースや施設等他町との差別化を図っていく。いこいの村の宿泊施設などと連携した複合的な形を考えている。



無電柱化が実現した金子開成和田河原線の一部

問 候補地選定資料はどのような条件をつけているのか。

町長 利用計画図、管理棟・コース設定と配置、付帯設備の配置であり、整備費や20年間の維持管理費の概算等である。

問 開設後の維持管理等について、指定管理制度等の考えは。

生涯学習課長 候補地選定資料の作成委託をしている段階であり、指定管理制度については未定である。

【金子開成和田河原線】

問 この都市計画道路の沿道は多くが市街化区域だが、開発や活用について県の方針は。

町長 市街化区域では土地利用は可能である。県

との協議が必要になるが、農振地域でも沿道サービス施設等の開発は可能である。

問 御殿場線とアンダーパス交差になったが、東側の3本の町道の対応は。

町長 住民の生活道路としての機能を損なわないように、都市計画道路の北側につけ替え道路を新設する。歩行者動線も御殿場線の東西に階段を設置し、動線を確保する。

問 都市計画道路の無電柱化への取り組みは。

町長 無電柱化率は全国5%以下であり、財源が厳しい中、当該道路についても過去県と正式な協議はしていない。仮にやるとすれば通行者が多い国道255号沿線からだろう。

仮大井中央公園に風雨をしのぐ施設の検討は

答 当初から予定しておらず、大幅な見直しや大きな費用を要する

諸星 光浩 議員



問 (仮)大井中央公園内の防災倉庫の施設規模と容姿は。

町長 金子防災倉庫の3倍規模を予定し、鉄骨構造の耐火・耐震建築物で備蓄保管スペースを200㎡、拠点施設として必要な設置を考慮し延床面積で300㎡程度となると考えている。

問 防災倉庫の建物のミートイングルームを開放してもらうとか、周りの樹木と同じようなペイントをするとか工夫があっても良いと思うが。

防災安全室長 公園の一部であるため、平時の活用も視野に入れ公園環境

に配慮した形で今後研究調査して詰めていきたいと思っている。

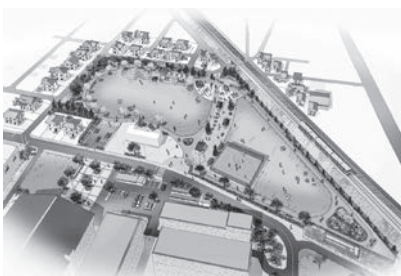
【町道7号線の歩道計画】

問 町道7号線の歩道計画の基礎資料のための測量調査を4月に行うと回覧が回ったが、どのような内容の基礎資料を予定しているか。

町長 この歩道計画は、平成29年度事業の業務委託で作成したもので片側2mの歩道と幅6・5mの車道を計画したものである。成果物の受領後に道路台帳図に記載されていない建築物や交差点形状にそがであったための補正業務として現地調査を実施した。

問 整備予定時期は検討しているか。

町長 計画図を地元の説明し、ご理解が得られれば、さらに詳細な測量を行い用地及び補償の概算費用を算出してゆく。ただし、整備予定時期は、財政的な問題や他事業との兼ね合い等を考慮し決定していきたい。



(仮)大井中央公園イメージ図

議会を 傍聴して

今年度採用の町職員3人が新採用職員研修の一環として第2回定例会を傍聴しました。

子育て健康課 大澤 侑香利

新採用職員の研修の一環として大井町議会第2回定例会を傍聴させていただいたことは、私にとって初めての経験であり、大変貴重な体験になりました。行政に対する疑問や大井町をさらによい町にするために必要なことなど多岐にわたる一つ一つの質問を聞き、町民を代表として議会に届ける議員さん方の熱意を感じました。

一般質問には一人一人に50分から60分と通告時間も決められていて、時間が余ってしまうのではと次第を見たときは思いましたが、実際傍聴すると質問から答弁まで途絶えることなく続き、あつという間に時間が過ぎてしまいました。答弁の際には、私の所属する課以外の業務の内容や取り組みの一部もこの場で知ることができ、様々な課で連携して町政を行っていることを実感し、今後さらに町ではどのようなことが行われているのか知っていく必要があると考えました。

また、傍聴席には席が足りなくなるほど町民の方が集まり、町政への関心が高いことも感じ大井町の職員として気を引き締めて業務に取り組んでいこうと改めて思いました。

生涯学習課 亀田 航平

今回、私は新採用職員の研修として大井町議会第2回定例会を傍聴しました。私は今まで議会を傍聴する機会がなかったのですが、今回の議会傍聴は大変貴重な経験をすることが出来ました。内容は通学路の安全対策、福祉関係、町の行政運営、再生エネルギーの地産地消の推進、教育関係など町の骨格を担う問題から、町民にとって身近な問題まで、多岐にわたるものでした。町民の代表である議員と町の運営主体である役場の職員が議論を重ね、大井町をより良いまちにしていく熱意を感じ、議員1人50分から60分の通告時間でしたが、私にとってあつという間の時間でした。

私はこの議会を通して、日々の業務で目の前の仕事に目を向けるだけで、大井町のことについて無知であることを痛感しました。それは、議会の中で質問される多くの内容が分からなかったからです。議会では、議会の答弁から、今町民がどのようなことに関心があり、行政に対して何を求めているのか垣間見ることができました。

しかし、答弁の内容を役場の職員が理解できていないと、町民のニーズに答えられないと思います。町民の方と信頼関係を築く上でも、まず大井町を知ることが第一歩であると感じました。そして、多くの町民のニーズに応えるためには、多角的な視点が必要であり、自分の担当業務だけに目を向けるのではなく、大井町の政策や土地性など幅広く大井町のことを知っていきたいと思いました。

私にとって今回の議会傍聴は、大井町職員として働く上で大変貴重な経験になりました。今回の議会傍聴で学んだこと・感じたことを、今後の業務に生かし、議員の方や町民の方々と共に大井町の更なる発展に尽力していきたいと思います。

町民課 山本 日向子

新採用職員の研修として、大井町議会を傍聴するという大変貴重な体験をさせていただきました。この体験により、町の発展のために議会がいかに重要であるか実感できたと思います。

議会は一般質問を中心に展開されており、大井町が現在、抱えている問題を多角的に知ることができました。この議会により、通学路の安全対策や消防団の報酬問題などの社会的な課題から、再生可能エネルギーや保育園の土曜保育などの地域に根差した課題まで大井町の抱える問題を把握できたと感じています。また、課題や問題を解決するうえでの障害や今後の対策などの回答から、大井町の現状について更に深く学びました。

議会のなかで特に注目されていたのは、通学路や町道の安全性や太陽光発電による再生可能エネルギーなど大井町の開発に繋がる課題だと感じました。この問題の一般質問とその回答から、町の開発にはそれによる利便性向上といった町の更なる発展と同時に、安全性や実績の見込みなどの現実的な面も求められていると気付かされました。これにより町を発展させていく難しさを実感することができ、大井町役場の一員としてどのようなことができるか改めて考えさせられました。議会を傍聴したことによって、把握かつ学習した問題点や大井町の現状は、今後、大井町の課題に取り組む際に必要不可欠だと考えています。これからも議会を傍聴する機会をつくり、大井町の現状把握を行い、課題解決に貢献できるように成長していきたいと思えます。

また大井町を更に発展させていくために、今回の議会傍聴から学び取ったことを忘れずに、大井町役場の一員として努力していきたいです。

● 町のこの人あの人 ●

創立10周年に向け始動

防災に強い町づくりをめざして



上大井地区
ひらののりひさ
平野 雅久さん

▼活動内容

大井町防災町づくりの会長である上大井在住の平野雅久さんを紹介します。

平野さんは平成20年から2年間、上大井自治会の自治会長として活動していました。任期終了とともに良くも悪くも、この2年間で経験したことを活かして防災に対する知識をより深めたいと考え、町が主催した「防災コーディネーター養成講座」に参加し資格を取得。この講座に参加した有志により「大井町防災町づくりの会」を立ち上げました。

まずは、町歩きと称して町内の危険箇所を調査する事から始め、大井町の地形や歴史を学んでいきました。さらに消火器、消火栓の位置を確認し独自にマップを作成しました。

一方で、これからの担い手となる中学生の防災教育が大事であるとの思いから、学校からの要請を受け、年3回行われている、避難訓練に防災コーディネーターとしてアドバイスをしていました。その後、工夫を重ね思

案した結果、生徒達が実際に体験をして技術を学び、防災減災の意識を高めてもらおうと始めたのが、現在行っている中学3年生を対象にした防災教室（家具の転倒防止対策・ガラスの飛散防止対策・インパクトドライバの使用法）であります。

▼今後の活動として

町社協や防災塾たる、建築組合など各種団体との連携をはかりながら、町内の自主防災組織との意見交換の機会を作っていきたい。さらに今年は創立10周年の節目の時でもあり会としても活動枠を広げていきたいとのこと。「活動資金の調整は苦労しますが、町民の防災意識を高め防災に強い大井町にするために活動を続けていきたい」と真剣に語られました。



飛散防止フィルムの体験中

町政を知る良い機会です

議会傍聴にお越しく下さい

9月13日(木)午前9時 第3回定例会開催

問合せ先：議会事務局 ☎85-5000 FAX85-3936

編集後記

5月に開催した議会報告会では多くの貴重なご意見を頂戴致しました。皆様からいただいたご意見は今後の委員会活動や議員活動に活かしていきたいと思えます。

広報常任委員会としては、これまで議論を重ねてきたネット配信や会議録検索システムについても検討の大詰めを迎えています。

議会のさらなる見える化に向け、しっかりと取り組んでいきます。

また、議会だよりは議会を知るためのツールとして情報を発信しています。是非一読ください。

伊藤 奈穂子

委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	広報常任委員会
田村 俊二	牧野 一仁	熊田 和人	伊藤 奈穂子	曾根田 徹	諸星 光浩	細田 勝治	